

北海道退職校長会

(1) 概要

昭和40年創設。道内で公立幼稚園長、小・中学校長、高等学校長や特別支援学校長であった方々を会員とし、道外に居住を移された14名の会員も含めて現在会員数約4,500名。札幌のあやめ野小学校の中に事務所を置いて、専任の事務理事が一切の事務処理をしています。

そのねらいとするところは、①会員の福祉増進、②会員相互の親睦、③主体的な研修活動、④北海道の教育振興に寄与すること、の4項目とし、これを達成するための事業として、7項目をあげ組織活動をしています。

- 1) 会員の親睦、福祉増進に関すること。
- 2) 年金等の改善、叙勲制度の充実に関すること。
- 3) 会員の研修、生涯学習の振興に関すること。
- 4) 組織の充実・強化に関すること。
- 5) 会員に対する情報の提供、交流に関すること。
- 6) 関係機関、団体との連携、交流、協調に関すること。
- 7) その他、目的達成に必要なこと。

(2) 組織活動の基本方針や各部の事業計画

- 1) 当面している教育課題を把握し、個の会員や組織としての教育支援の在り方を、社会参加・社会貢献の視点から提言しています。
- 2) 公的年金制度の改革は、退職後の生活基盤に大きな影響をもたらしています。共済年金は採用や勤務条件を含め、公務員制度と密接に関連しています。経済や物価の変動による「スライド」の実施や、適正化（減率）、支給時期年齢繰上げ等の問題があり、長期的な展望の中で社会保障全体を見渡した解決を求め、全連退や関係団体と共に政治的な運動を継続的に行っています。
- 3) 高齢者福祉と関連して、介護、医療、年金に関わり、会報（福祉シリーズ）を通して情報活動を行い、会員の理解を深めています。
- 4) 準会員組織の拡大充実を契機として、現職の学校長・園長の教育実践・教育経営を幅広く支えるために、行政機関や地域社会、家庭の地域環境づくりへの提言をしています。（北海道の教育振興のために）
- 5) 北海道教育会議（北海道教育振興会と共催）・地域懇談会（全道会議）・道教育長との懇談会や現職校長会・園長会との交流連携を通して、生涯学習振興へのアプローチを続けています。

※ 準会員制は、退職校長会にご理解をいただき、現職時から協力願う趣旨で、現職校長会を通し加入の促進を行い、多数の方々の加入をいただいております。

（会費は1,500円で会報など年3回配布されます。）

※ 全国連合退職校長会（全連退）は都道府県の退職校長会の連合体で本会も団体加入をしており、全国的視野で研究調査や広報活動を行っております。

※ 支部組織 現在 39 支部で組織されている。（札幌中央，東，西，手稲，南，北，白石，厚別，豊平，清田，江別，千歳，北広島，石狩市，小樽，北後志，後志羊蹄，岩見沢，南空知，美唄，旭川，留萌，宗谷，苫小牧，白老，室蘭，帯広，北十勝，東十勝，西十勝，根室市，根室地区，網走，北見，紋別，遠軽，函館，渡島，檜山）

(3) 退職校長会と退職公務員連盟（退公連）とのかかわり

退職公務員連盟（退公連）は、元公務員であった退職者が個人的に加入（職域ごとの退職者団体の連合体ではない）している団体ですが、組織も大きく、年金・高齢者福祉の改善問題に力を集約し、共に努力しています。

また、退職校長会は年金の改善問題との取り組みばかりでなく、正しい世論を喚起し、北海道の教育振興のため、精一杯の声援を送ろうとする団体としての立場を貫いています。

（北海道退職校長会資料）

※連絡先

北海道退職校長会

事務局 〒062-0051 札幌市豊平区月寒東1条11丁目7-32

札幌市立あやめ野小学校内

電話番号 011-857-6266 (FAX)

会 長 永 峰 貴